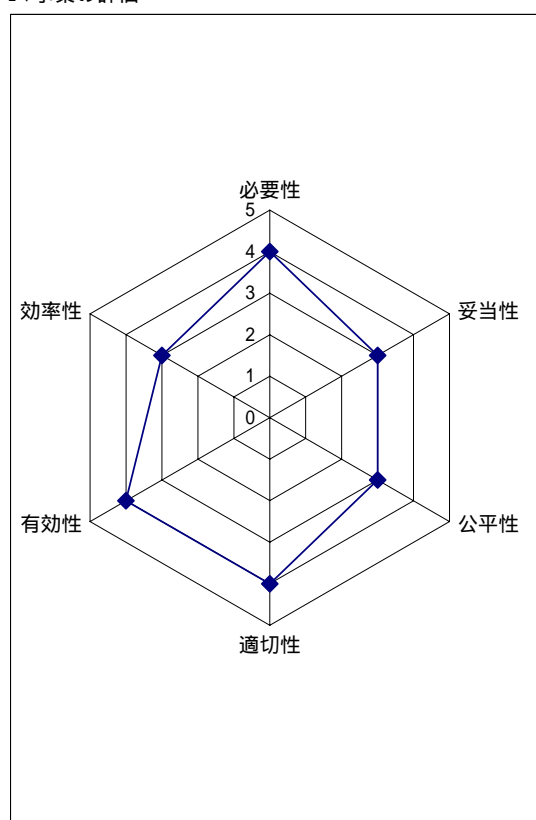


事務事業名	用排水路改修材料支給事業	担当部局	市長部局 産業経済部
基本目標	豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり(産業)	担当課名	耕地課
施策体系	美しい田園を育む交流型農業の振興	担当係名	土地改良係
施策	農産物の安定した供給体制を充実する		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	地元住民の要望に応えるため、順次、用排水資材を支給する。農業生産の基礎となる農業用排水施設の整備を図り、もって農業の生産性向上、農業構造の改善に資する。		
事業の期間(開始/終了)	99年 99月 / 99年 99月		
根拠法令、条例、規則など	結城市用排水路改修工事用資材支給要項		
事業が対象としている人(モノ)	用排水路改修を行う団体		
具体的な活動内容	要項に基づき申請の受付、支給、管理等をおこなう。		
	資材購入の発注をし、支給団体へ円滑に材料が支給されるように調整をとる。		
	支給した材料が、適正且つ速やかに施工されているかの確認をする。		
	要望書の整理、確認を定期的におこなう。		
事業の成果	各団体からの要望を受け、要望箇所の調査をすることで、必要性が理解された。		
	要望団体・関係地権者と協議することで、適正な対応ができた。		
	材料支給をした団体は、速やかに施工し、農業の生産性向上、農業構造の改善に資した。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い 土地改良施設の機能保持や機能強化及び耐用年数確保のため、施設管理者が実施する維持管理事業の経費の一部を交付要項に基づき補助するものである。市内耕地においては、まだ土水路の箇所が多く、申請があとを絶たない状況である。
妥当性	3 どちらとも言えない 本来地元受益者で対応すべきであるが、費用的な問題があるために、行政側で資材を支給し地元で施工するといった内容となっている。行政で援助することにより施設機能の確保及び安全管理上の面での効果が期待される。
公平性	3 どちらとも言えない 対象となる団体へ公平に対応しているが、地元から申請があったものへの対応であり、地元団体に施工費用等の財源がない場合には申請も出来ないため偏りは生じる。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない 要項に基づいており適正である。また、申請数が多く、対応がついていかない状況であるが、公平な対応を心がけている。
有効性	4 概ね目標水準に達している 支給した団体は、すみやかに施工し農業用排水施設の整備を図っており、目的は達成されている。
効率性	3 どちらとも言えない 毎年事業費が減少しており、コスト効率、人員効率については徐々に低くなっている。しかし、要望数においては毎年多くの要望があることから、トータルするとどちらとも言えない。

総合評価	市からの支給材料を地元にて施工することから、官民一体で協力しあって整備していく事業であり有効性は高い。しかしながら、増える要望に対して事業費が減少しているため、毎年対応出来る団体数が少なく、さらには1団体の要望に対応するのに数年もかかってしまう等の課題がある。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	維持継続
	説明	通水、排水機能の向上、水田畑地の乾田化、危険防止等維持管理費の節減と併せて農業生産性向上を図る上で必要である。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	依然として申請が多く、農業の生産性向上を図るため用排水施設の整備を継続的に推進する。			